

町の人口

◆総数	9,082人
男	4,344人
女	4,738人
11月中の異動	減16人
出生	5人
死亡	9人
転入	19人
転出	31人
◆世帯総数	1,994世帯
一住民登録人口	11月末現在

12月の納税

固定資産税	3期分
保険料	12月分
保育料	〃
国民年金保険料	〃
◆納期	12月20日
◆完納して、希望に満ちた新年を迎えましょう	

とうえい

広報

発行 東栄町役場
編集 企画室
愛知県北設楽郡東栄町大字本郷
字上前畑25 TEL 東栄(代) 400
印刷 株式会社水鳥印刷所

四十一年度決算を認定 町議会

決算額初の二億円台に

一般会計 一千六百万円を繰り越す

去る十一月二十四日午前十時から町議会議事室で開催され、昭和四十一年度の東栄町一般会計ならびに各特別会計決算の審議が行われ、それぞれ原案どおり認定されました。このうち、一般会計の歳入決算額は、二億三千八百八十六万八千八百七十六円、歳出決算額は、二億一千五百二十三万六千八百四十五円で、差引き千六百六十三万二千三百三十一円が昭和四十二年に繰り越されました。それでは、この日認定された一般会計の概要を次のとおり説明します。

歳入・歳出ともに、費目別の決算額および決算総額に対する構成比は、図に示したとおりです。

〔歳入〕
決算総額では、予算総額に対し(一三)割の収入歩合を示し、前年度決算総額との比較では二・五・八割の増となっております。歳入総額に対する構成比からみると、地方交付税(二八)割、町税(二〇)割、国庫支出金

〔歳出〕
歳出については、予算総額に對して九六割と前年度同様の支出割合を示しています。

町長に金色有効章

日本赤十字社創立九十周年記念大会 秩父宮妃殿下から親授

日本赤十字社創立九十周年ならびに愛知県支部創立八十周年記念大会が、去る十一月二十六日、愛知文化会館において関係者多数が参加して盛大に開催されました。

その席上において、本年度日赤事業に協力せられた町長伊藤豊太郎氏に対し、名誉副総裁であられる秩父宮妃殿下から金色有効章が親授されました。

赤十字事業は、人道、博愛、奉仕の精神をもって、災害救助や血液事業に積極的に活動しており、思まれない人々のために尽くしております。東栄町も、かつて、伊勢湾台風時には多数の罹災者に救済物資を受けており



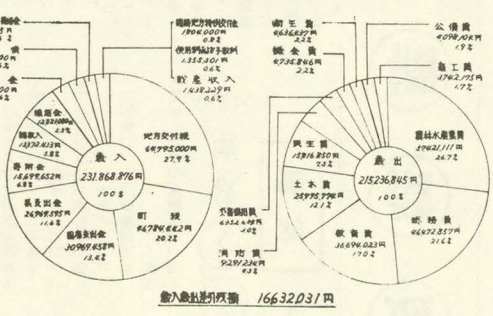
妃殿下の親授を受ける町長と金色有効章(右)

「花祭り」の日どり
変更のお知らせ

先月号でご紹介しました「花祭り」の開催予定日が、次の地区に改めて変更になりましたので、改めてお知らせいたします。

◆変更された地区と日どり
一月二・三日 足込
一月四・五日 小林

昭和41年度東栄町一般会計歳入歳出決算



昭和41年度実施の各種事業一覧表

単位千円(註、国庫補助事業、県補助事業、単町単独町費事業)

事業名	事業区分	事業費	事業名	事業区分	事業費
◆農林水産業費			西万場上岡本線側溝外	単町	2,700
東山農免道路整備事業	国補	12,023	(橋梁改築)	〃	4,594
平沢農道整備事業	〃	2,300	本郷橋改築	県補	5,991
林業構造改善事業	〃	13,576	向嶋橋改築	単町	1,400
用水路改修事業(森谷用水、山田用水)	県費	1,500	◆教育費		
中設楽農道新設事業	〃	3,100	御園小給食室新築	国補	1,577
月中央橋改築事業	〃	2,900	その他各小中学校施設整備	単町	4,519
奈賀篤路橋改築事業	〃	1,270	林間学校体育館改築	〃	1,465
大和金林道整備事業	〃	9,479	◆災害復旧費		
山村宮農振興事業	〃	3,591	本郷足込線	国補	374
◆商工費			すい道口三ッ瀬線	〃	1,914
スケート場整備事業	県費	2,010	下川御園線	〃	2,599
◆土木費			足込小学校線	単町	1,465
(道路整備)			◆消防費		
山ノ上田横引線舗装	県費	970	小型動力ポンプ	国補	892
南万場平線舗装	〃	794	ポンプ積載車	単町	1,940
東園目小学校線	単町	1,000			

年末・年始のお買物は
ぜひ町内商店で...
東栄町商工会

ご贈答用たばこも町内で買いまししょう。.....東栄町

町建設費の二百三十五万九千円が事故繰越(事業が年度内に完了しなかったため、予算を翌年度に繰り越すこと)となったため、実質的な繰越額は一千四百二十七万三千円で、これが四十二年に繰り越されることとなります。

◆特別会計の決算状況は、二面に総括表として掲載しました。

中央小に数々の栄誉

科学教育 花いっぱい 環境緑化 三つの大賞に輝く

中央小学校(丸山要磨校長)では、校舎新築五周年の意義ある年にふさわしく、ソニー科学賞、花いっぱい知事賞、それに環境緑化委員賞の三賞を受賞するという栄誉に輝きました。年度内一つの学校がこの三つの大賞を受けたということは、郡内はもちろん、県下の教育史上でも、おそらく初めてのことだろうといわれています。

ソニー科学賞については、同校が去る昭和三十九年度に第一回の応募をし、みごと優良校に入選、賞金十万円を受けていることは衆知のことですが、以来科学教育の推進を同校経営の一つの重点として、職員と児童が一九九となり、環境が続けられていたのです。その実績は、と来り、最近では郡内外からの参観者も多くなっています。

こうした五年間の実績を基として、本年六月に第二回の応募

をしたところ、全国の新聞紙上を以て発表されたとおり、みごと賞賞に入選して賞金二十万円を受付けられました。



三つの受賞に輝く賞品のかずかず

クルでは、前記科学教育と情操教育の一体的経営の立場で応募し、九月の現地審査の結果、資料、実地共に県一位の最高点を獲得しました。さらに、学校環境緑化コンクールにおいても、校舎しゅん工と同時に緑化計画が進められ、科学教育との一体的経営の成果が認められ、県三位で国土緑化推進委員賞の受賞が決まりました。なお、交通安全についても、



県警察本部長と安全協会長から表彰状と表彰旗などが贈られています。このように、中央小が数々の受賞に輝いたことは、同校職員児童そして校区のみならず、一丸となって精進した結果でありまして、学校の名誉はもちろんのこと、東栗町にとってもたいへん喜ばしいこととあります。

任意加入のおすすめ

国民サラリーマンの奥さん方へ

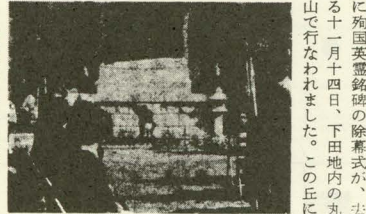
サラリーマンの奥さんは、自分自身の年金を持たずに、ご主人の被扶養者として間接的に保護されているだけで、もしご主人が死亡された場合はご主人のいう年金の半分を受け取るというふうな、きわめて不安定な状態におかれています。国民年金には、このような奥さん達の老後を保障するために任意加入が設けられています。ご主人が共済組合や厚生年金に加入していた期間、(つまり奥さんが国民年金に任意加入できる期間)は奥さんが実際に国

用紙は住民課の国民年金係と窓口係にありますが、電話で連絡してください。老令年金一覽

- 五〇歳の人が一〇年納めると年額二四、〇〇〇円支給
- 四〇歳の人が一〇年納めると年額一八、〇〇〇円支給
- 三〇歳の人が一〇年納めると年額一六、〇〇〇円支給
- 二五歳の人が一〇年納めると年額一四、〇〇〇円支給
- 二〇歳の人が一〇年納めると年額一六、〇〇〇円支給

りっぱな銘碑が完成 慰霊祭とあわせ除幕式

下川区(区長伊藤一氏)が主催して、同区の慰霊祭ならびに殉国英霊銘碑の除幕式が、去る十一月十四日、下田地内の丸山で行なわれました。この丘に



遺族の手で除幕

環境衛生金融公庫が 新しく開設に… 商工会

環境衛生関係の事業を営む方々に必要な資金を利用していたために、国が資本金十億円を以て、十月二日設立、十一月二十日営業が開始されました。この公庫の目的は「環境衛生に資する事業を営む者に対して、衛生水準を高め、その近代化・合理化を促進するために必要な設備を整備する資金を融通すること」で、衛生設備資金は年六分五厘・近代化・合理化資金は年七分七厘の低利貸し付になっています。

- ①貸付金額 個人一千万円
- ②貸付条件
- ③貸付期間 設備一十年以内 運転一五年以内
- ④据置期間 運転一六ヶ月

環境衛生関係の事業を営む者に対して、衛生水準を高め、その近代化・合理化を促進するために必要な設備を整備する資金を融通すること。この公庫を利用できます。

町政一年のあしあと

月日のたつのは早いもの、もうすぐ新しい年を迎える。ふりかえれば、こしも平穏だった。とはいえ、町開発のつち音は休みなく響く。去る年を見つめ、来る年もまた、この首をより大きく、より高く鳴らしたい。

- ▽東栗中成成人式(十五日) 〓あしたに羽ばたく九十八名。
- ▽衆議院議員の総選挙(二十九日) 〓そうそうの選挙戦、最高級の国民審査も同時に。
- ▽愛知県知事選挙(四日) 〓投票率八十三・六％とまずまず。
- ▽初のレオンハルト工法で本郷橋がしゅん工(十五日)
- ▽四十二年度予算議決(九日) 〓定例議会で一般会計二億三千五百万円のほか、各特別会計も決まる。
- ▽消防団検閲式を挙行(二十二日) 〓雨で異例の街頭パレード

- ▽農薬構造改善事業助成金出す 〓看板に食鶏、緑茶をかけたて四十二年度から事業実施に取りかかる。
- ▽二十人の新選決まる(二十八日) 〓議員定数減後初の町議選、かつてない競争率で地方統一選挙の幕を上げる。
- ▽中央橋できる(十二日) 〓小学校児童も安全通学。
- ▽振興山村指定町に内定 〓町の総合開発めざして振興施策の準備整う。
- ▽町民体育大会(三日) 〓盛大でなごやかだった明治百年記念
- ▽住民基本台帳法スタート 〓より便利に、より能率的に…。

▽遊歩道の窓口事務を改善(二日) 〓一本化で住民の利便とサービス向上を図る。
- ▽町民体育大会(三日) 〓盛大でなごやかだった明治百年記念
- ▽住民基本台帳法スタート 〓より便利に、より能率的に…。

三ツ瀬部落に 水道施設

大字本郷の三ツ瀬地区では、このほど飲料水供給施設(水道施設)建設の計画がまとまり、現在その工事かすめられています。この地区では、これまで表流水や浅井戸を主として使用

は、大正四年に建てられたといわれる忠魂碑がありますが、このたび下川区民のつとめ急務に突つて、忠魂碑と隣りあわせの位置に、同区出身の英霊七十三柱の姓名を刻んだ銘碑が建設され、この日慰霊祭とあわせ除幕式が行なわれたのです。新しく建てられた銘碑は、この夏から総工費約五十万円をかけて工事がすすめられていたもので、礎石は仙台石、台石には岡崎石が用いられたといいたいへんりっぱなもの。この日には、町長をはじめ多数の来賓を招き、遺族をはじめ多くのこと、下川小の児童全員が参列するなど、区をあげて銘碑の完成を祝いました。

計画によると、給水人口は九十六人、一日最大給水量は百五十リットル、一日最大給水量は十四・四立方リットル、総事業費は九十万円とされています。水源は奈根川上流の河川伏流水を集水埋管で取水し、浄水場では緩速ろ過処理に塩素滅菌処理を施し、自然流下方式で各戸に配水される計画です。しゅん工は今年末とされています。

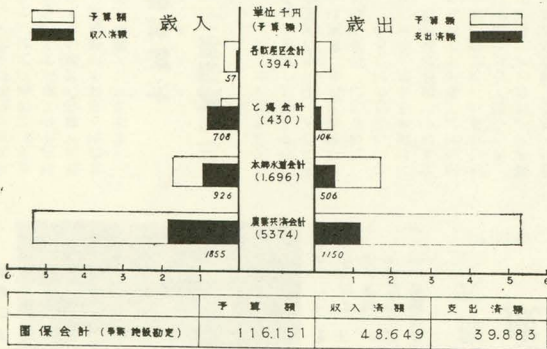
していましたが、水質もよくない上に、日常の飲用水にもこと欠くこともあり、また使用水に起因する疫病のおそれもあることなどから、こんどの建設となつたのです。

昭和41年度決算

町の財政状況を公表

昭和42年度上半期

昭和42年度特別会計収支状況 (9月30日現在)



公有財産 (昭和41年度末現在)

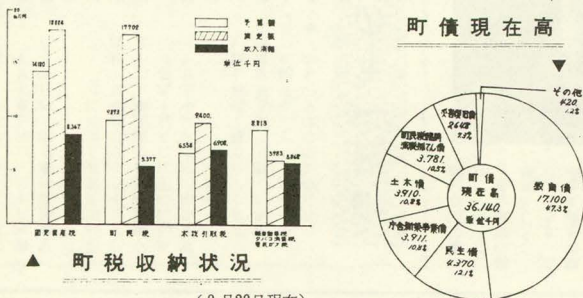
土地および建物

区分	土地	建物		
		木造(延面積)	非木造(延面積)	計(延面積)
庁舎	3651.5	74.3	1043.0	1117.3
公用財産	83,387.0	17,196.0	2,251.0	19,447.0
普通財産	227.8	578.1		578.1
合計	114,469.7	23,371.2	3,294.0	26,665.2

物品

区分	決算末現在高	区分	決算末現在高
乗用車	2台	リコピー複写機	1台
小型貨物自動車	2台	謄写ファックス	1台
ジープ	1台	電子リコピー	1台
行政用無線機	1台	原動機付自転車	5台
消防用無線機	1台		

町債現在高



町税収納状況

(9月30日現在)

財政の動向と方針

東栄町長 伊藤豊太郎

地方自治法第二百四十三条の第三項および財政状況の公表に関する条例(昭和四十年条例第二十一号)の規程により、昭和四十一年度決算の状況ならびに昭和四十二年四月一日から同年九月三十日までの期間における町の財政状況を次のように公表します。

現在の町財政は、歳入面で近年とくに伸び悩みをつづける町税をはじめとする自主財源と、歳出面における経費の漸増により、年々とも収支の健全なバランスは失われつつあります。特に、財政基盤の弱少な町村においては、この傾向はますます著しくなつてきています。

本町財政を昭和四十一年度決算からみても、約六十割が依存財源で占められている現状であり、地方交付税や国・県支出金などに頼る面がますます大きくなつていきます。一方、経常的経費は、諸物価の上昇と給与改訂などにより、年々増加している現状にあります。

このため、町将来の諸施策にも影響が考えられますので、今後はいつそう財源の確保に努めるとともに、経常的経費の効率的運用に意を注いで節減を図り、投資的事業は綿密な計画のもとに事業を行なうなど、健全財政運用の必要を痛感いたします。

したがって、この面の万全を期すとともに、行政上においても国・県の諸施策を併せ考え、最少の経費で最大の効果をあげるべく努力し、住民福祉向上のために教育、土木、産業、厚生などあらゆる分野に、積極的に施策を推進して町の発展を図る方針であります。

町民各位にも、町財政の事情をご理解いただき、今後いつそうのご協力をお願いいたします。(註、昭和四十一年度一般会計決算の状況は一面掲載したのでここでは省略します。)

昭和41年度東栄町特別会計歳入歳出決算総括表

(単位 円)

会計別	区分	歳入	歳出	歳入決算額	歳出決算額	歳差引(翌年度繰越額)
		予算額	実績額			
国民健康保険	国保	46,173,000	46,129,386	46,129,386	44,261,474	1,867,912
	御殿診療施設	3,918,000	3,918,000	1,432,987	1,432,987	0
	園診療施設	11,418,000	7,223,364	7,222,530	7,222,530	834
	東栄病院施設	60,981,000	53,367,047	52,286,180	52,286,180	1,080,867
	同富山村診療施設	4,722,000	4,608,291	4,608,291	4,608,291	0
	小計	127,212,000	112,761,075	109,811,462	109,811,462	2,949,613
	と場特別会計	550,000	723,618	200,114	523,504	
	本郷簡易水道特別会計	1,246,000	1,482,661	1,059,787	422,874	
	御殿財産区特別会計	98,000	1,375	0	1,375	
	本郷	6,000	818	0	818	
下川	80,000	6,540	0	6,540		
園	33,000	32,876	0	32,876		
三輪	72,000	1,200	0	1,200		
振草	88,000	14,691	0	14,691		
農業共済事業特別会計	5,785,000	5,110,880	4,804,832	706,048		
合計	135,170,000	120,535,734	115,876,195	4659,539		

昭和42年度東栄町一般会計収支状況

昭和42年9月30日現在

款別	歳入			歳出		
	予算額	調定額	収入済額	款別	予算額	支出済額
1. 町税	39,424,000	51,170,398	26,523,804	1. 議会費	4,897,000	2,228,162
2. 地方交付税	62,030,000	53,983,000	53,983,000	2. 総務費	34,759,000	15,281,880
3. 分担金および負担金	3,098,000	2,316,610	1,929,275	3. 民生費	17,054,000	7,143,938
4. 使用料および手数料	1,230,000	568,056	568,056	4. 衛生費	8,325,000	1,356,451
5. 国庫補助金	49,866,000	2,277,000	2,277,000	5. 林業費	70,582,000	2,792,645
6. 県支出金	26,032,000	532,079	532,079	6. 商工費	13,181,000	1,327,429
7. 財産収入	1,082,000	503,662	503,662	7. 土木費	21,677,000	6,099,349
8. 寄附金	16,795,000	2,998,673	2,998,673	8. 消防費	8,849,000	3,811,232
9. 繰入金	2,084,000			9. 教育費	51,173,000	15,893,922
10. 繰越金	16,632,000	16,632,031	16,632,031	10. 災害復旧費	1,203,000	220,650
11. 諸収入	3,232,000	547,207	547,207	11. 公債費	5,305,000	1,980,828
12. 町債	16,500,000	1,000,000	1,000,000	12. 予備費	1,000,000	0
合計	238,005,000	132,528,716	107,494,787	合計	238,005,000	58,136,486

2. 町有林 3. 有価証券

所在地	面積	立木蓄積量		区分	決算年度末現在高
		用材m ³	雑木m ³		
大同山	97.2	1,386.6	966.3	妙防会館出資証券	80,000
御川内	32.7	1,033.0	46.0	森林組合出資証券	510,000
計	129.9	2,419.6	1,012.3	国保会館出資証券	437,050
				電信電話債券	676,000
				計	1,703,050

青少年の非行・交通事故防止

正月ぐらいいは大目には...

この気持ちで危険を招く

師走(しわす)も残り少なく、なつてくると、何となく世の中があつたじつかりなり、道ゆく人も車も寒のせい、おとなも子どもも、ともすれば開放的な気分になり、消費的ムードの中で宣伝広告のペースにまきこまれてきます。年末年始には、年令不相応な年玉をもらつて、子どもたちだけでむだづかいを覚え、そこから衝動的な欲求や勝意を以て万引きなどの非行に陥りやすいので、必要以上のお金を持たせないようにし、使いみちをはつきりさせることがたいせつです。アルバイト先での交友から好ましくない方向へ発展したり、金銭を乱費したりするのを覚悟のほかに、やむを得ない場合のほかにアルバイトはできるだけさせないほうがよいでしょう。

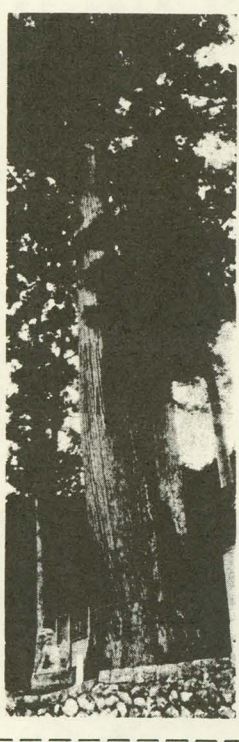
年末・年始に ぞい、ほしい心得

◆ 現金の持ち運びに気をつけよう。
年末はお金の動きと盛です。それだけにちょっとした油断をならわれやすいので、特に大金を持つようなときは次のようなことに注意しましょう。
○ 銀行や郵便局などへ、大金を出し入れに行くときは、必ず見知らぬ人から声をかけら

る。樹令などからして、おそれ成育は止まっています、おと思われませんが、現在町内の巨木の中には、太さにおいてこの木の右に出るものはないだろうといわれます。
また、この近くの山に、やはり天然記念物として指定されている「しだれもみ」があります。
(写真は須佐之男神社の鏡杉)

須佐之男神社の鏡杉

この杉は、昔から周囲の木が売られたときに、いっしょに切られようとしたのが、ご神木であることが考えられ、危く伐採の難をがれて現在に及んだもの



大字三輪の畑部郷にある須佐之男神社の境内に、ここにご紹介する鏡杉(あやなぎ)があります。鏡杉は、樹令が推定で四百年以上といわれ、太さは目とおり八・五び、高さ約三十びという巨木です。しかも、途中から二本の幹に分かれているという珍しいもので、これは元来二本の木が接合して一本になったものだといわれています。

たときは、じゆうぶん注意をし、相手の言うことを信用して現金などを渡すことのないようにする。
◆ 酒をのんだらハンドルを握らない。
年末は寒さに加え、忘年会などで酒を飲む機会が多くなります。そこで、酒が出るのが予想される

「NHK歳末たすけあい」
ことしもみなさんのご協力を

「NHK歳末たすけあい」
つた養援金は、中央共同募金を集められ、社会福祉施設や更生保護施設に公正に配られるほか、身体障害者、精神薄弱児など、めくまれない人々にも届けられ、明るい正月を過ごしてもらうため役立っています。
養援金は、全国の郵便局、都道府県共同募金、NHK各放送局のほか、都道府県共同募金会がとくに指定した取引銀行で受付けることになっています。

PTA研修旅行記

伊藤安太郎

十一月十八・十九日の予定で町PTA連絡協議会では、研修旅行を実施した。一行はまず大山の明治村に着いた。文化財をこのしなえに保存する博物館である。古代ゆかしい門をくぐる、十数種の各種の文化財が、尾張富士山麓の入鹿池湖畔に散在している。わが国の近代文化は明治から始まったから、その保存精神によって生まれたもので明治村は大和民族とともに、永久のよわいを数えつづけなければならない。
ついで、雲間をのれる秋陽を受けて、名神国道を経て京都市にはいった。大戦のころ跡もない落ち着きのある街並みが一印象であった。
京都は昔皇城の地として培われ、文化芸術を生み育てた。平

戸籍の窓口

- (十一月受付分)
- よるこび (出生)
 (出生児) (保護者) (住所)
 山口 文三 九州男 下田
 佐々木 誠 興平 〃
 内藤 博臣 昭男 本郷
 小野田雄一 真市郎 振草
 藤田 伸明 昭雄 〃
- かなしみ (死亡)
 (氏名年令) (世帯主) (住所)
 鈴木 省吾72 順次郎 下田
 市川 なつ75 勝太郎 本郷
 石井 さん79 照一 〃
 河合 辰平86 楠田けん 〃
 鈴木 まさ80 鎮太郎 中設案
 金田 喜久馬78 まつへ 〃
 和田 正三75 正大郎 三輪
 鈴田はるあ57 肇 〃
 内藤 りう89 正雄 振草

また、配分の状況、養援金をよせられた方の氏名は、NHKの放送を通じて発表することになっています。
年末・年始の 食品衛生
年末年始には、一度に多量の食品が製造・販売されると、人手不足も加わってその取り扱いが粗雑になった、きれいにみせるためとか、長くもたそうとして添加物の不正使用された食品が巡回のおそれがあります。そこで、食品を買う場合には次のことに注意することが必要です。
一、正しい表示の食品を選ぶこと
市販されている食品には、必ず「製造元」や「製造年月日」などの表示があります。この表示が正しくしてある食品を選びましょう。また、食品の取り扱いの衛生的な店や、店内の清潔な店で買うことも大切です。
奥が影射である。都合によって拝観が許されなかった。落陽が赤く映えてきたので、宿舎に着いた。夜の遊覧に Cornell コースというのがある。唯一の古典芸能の観賞である。どちらを見ても、灯の海で特に目だったのは河原町である。小唄もここである。祇園鴨川一丁は、今は全くすたれた雅楽も、ここではそれが発展している。祇園舞妓のダダリ、帯や、鶴原の大夫の道中(かしの式)など、目を見張るものがある。帰る車窓に一面茶屋とある看板にも心うたれるものがあった。明けて十九日、曇天のもとを二条城に向かった。見あげる城間は、元離宮とあつたただあせんとするばかり、筆紙にはつくられない。大書院建てに堀をめぐらして庭園も備わり、桃山美術の貴重な造構の本丸に殿であった。ついで大徳寺であった。臨濟宗の本山で、近世神道の代表寺として知られ、開基は西一休、沢庵の名僧である。活は西陣織で、ここは現代生活に欠かせない美のシンボルであつて織物工業の粋を創るお召から室内装飾まで、千古の都としてつちかわれ、今なおおかしさがあつた。
次は比叡山であつた。山頂からは琵琶湖、大津市、京都市街が一望できる大観光地である。この地も歴史を尋ねるといろいろあるが、紙面の都合で省略するとして、近代的な琵琶湖大橋を渡つて、一路東岸町への橋路を渡つた。そして秋宵が夕陽にけむるころ青の家に着き、研修旅行の幕を閉じたのである。